音のかけら
と
音楽のかたち

彫刻家・金沢健一の制作する作品《音のかけら》は、鑑賞者が触ることで不定形に熔断された鉄板から様々な音を発見する作品です。それは鉄という素材が作り出す形と音の世界であり、視覚、聴覚、触覚が一体となった音体験の場でもあります。
当館では、毎年夏に展示やワークショップをとおして《音のかけら》を紹介してきました。このたびは、第一線で活躍する音楽家との共同作業により、《音のかけら》から生まれる新たなパフォーマンスを試みます。「響き」「音から音楽へ」その可能性を探ります。

[パフォーマンス] 無料でご覧いただけます。直接会場にお越しください。

・一ノ瀬響＋石川高＋金沢健一「未知なる響きへ」
2012 年 9 月 8 日 (土) 11:00-12:00 ／ 14:00-15:00
ピアノ、笙、鉄彫刻《音のかけら》による即興セッション。

・金沢健一ソロ「紡ぎ出される鉄の音」
2012 年 9 月 9 日 (日) 11:00-12:00 ／ 15:30-16:30
彫刻家である金沢健一による《音のかけら》ソロパフォーマンス。

・浦裕幸＋山口晋似郎＋金沢健一「音楽の生成〜区切りと決まり」
2012 年 9 月 16 日 (日) 11:00-12:00 ／ 15:30-16:30
簡単なルールの設定から生まれる音楽パフォーマンス。

・井上郷子＋伊藤祐二＋金沢健一「ジョン・ケージをめぐって」
2012 年 9 月 23 日 (日) 11:00-12:00 ／ 15:30-16:30
アメリカの実験音楽の作曲家ジョン･ケージをめぐるピアノと《音のかけら》のパフォーマンス。

[ワークショップ] 申し込みは9月1日 (土) 午前9時より川越市立美術館へ電話、ファックスにて受付開始。

・金沢健一ワークショップ「音のかけらをつくる」
2012 年 9 月 17 日 (月祝) 10:00-16:00
直径 35cm の《音のかけら》の制作とそれを使った音体験、コミュニケーションのワークショップ。
(小学 4 年生以上　定員 10 名　参加費 ¥3,000)

[参加アーティスト]

金沢健一 Kanazawa Kenichi (彫刻家)
1956 年東京生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科修了。彫刻家。工業製品としての鉄を素材に、幾何学的な形態による構成的な作品、また熱、音、振動といった物理現象を利用した作品を制作する。多くの美術館で展覧会、パフォーマンス、ワークショップを展開している。主な展覧会として、「共鳴する空間 金沢健一 音のかけら」新潟市新津美術館、「はがねの変相―金沢健一の仕事」川崎市岡本太郎美術館、「耳をすまして」茨城県近代美術館、「金沢健一展 出発点としての鉄 1982-2011」川越市立美術館。

一ノ瀬響 Ichinose Kyo (作曲家)
1972 年東京生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学大学院音楽研究科修士課程修了。2002 年、独自の豊穣なエレクトロニクスミュージックにより、半野喜弘が A&R を務める Current レーベルより初のソロアルバム「よろこびの機械」をリリースする。以降、「Lontano」、「Protoplasm」、「Earthrise 2064」と合計４枚のソロアルバムを制作、UK の音楽雑誌” WIRE” の特集にて年間ベストアルバムの１枚に選ばれるなど、ヨーロッパをはじめとする海外から高い評価を受ける。また、ソロ活動以外でも数々の先鋭的な CM 音楽の作曲やアーティストとのコラボレーション、インスタレーションのサウンドプログラミングまで、常に音と音楽の境界を探るジャンル横断的活動を展開している。

石川高 Ishikawa Koh (笙奏者)
1963 年東京生まれ。1990 年より笙の演奏活動をはじめ、国内、世界中の音楽祭に出演してきた。近頃は催馬楽などの歌唱でも高い評価を受けている。雅楽古典曲のみならず、現代作品や自主作品の演奏、即興も情熱的に行っている。雅楽団体「伶楽舎（れいがくしゃ）」に所属。

浦裕幸 Ura Hiroyuki (現代音楽美術作家)
1984 年 東京生まれ。2000 年頃よりバンド活動を中心に音楽活動を始める。またインスタレーション作品の発表も行う。
2004 年より CD リリースやイベント企画を中心とした組織・TWOLINES を山口晋似郎と共に運営。群馬県立近代美術館での「群馬青年ビエンナーレ 2012」入選。http://www.two-lines.org

山口晋似郎 Yamaguchi Shinjiro (音楽家)
1983 年川口市生まれ。時間とタイミングについて考えている。それを簡単な作曲にしている。演奏にはオーディオミキサー、ギター、ガラスのコップやプリンター、その他の物等を使用 してきたが、ものにこだわりはない。ソロの他に「hello」、ロック調のバンド「likea」に参加している。2004 年より浦裕幸とともに、CD 制作やコンサートの企画を中心とした集まり、TWOLINES の運営に関わっている。http://www.two-lines.org/asamoya

井上郷子 Inoue Satoko (ピアニスト)
東京学芸大学大学院作曲科修了。「ムジカ･プラクティカ･アンサンブル」を経て 1991 年よりソロ活動。国内で毎年リサイタルを行なうほか、ヨーロッパ、アメリカ、中東各地で音楽祭出演、リサイタルやレクチャーを行なっている。スイス HatHut 社より、CD「Japan Piano 1996」「Jo Kondo / Works for Piano」「Luc Ferrari /Piano & Percussion Works」がリリースされている。「井上郷子ピアノ･リサイタル#19 “モートン･フェルドマン作品集”」で第 10 回佐治敬三賞を受賞。国立音楽大学准教授。

伊藤祐二 Itoh Yuji (作曲家)
1956 年生まれ。東京学芸大学大学院作曲指揮法講座修了。作曲を住谷智、甲斐説宗、指揮法を伊藤栄一各氏に師事。又、作曲家近藤譲主宰のワークショップに 1 年間以上参加し多くを得る。作品は広く各国、各都市で演奏されている。ピアニスト井上郷子と共に、内外で、非常に多くのコンサートをプロデュースしている。“Antonio Magnoni ” prize（イタリア 2004）第 2 位受賞。2004 年には、international Composer Competition “Città di Udine（イタリア）の審査員を務める。nothing but music ディレクター。

[交通案内]
- 東武東上線・JR 埼京線（川越線）「川越駅」西口 6 番のりば、西武新宿線「本川越駅」から小江戸巡回バスで「博物館美術館前」下車
- 同「川越駅」東口 3 番のりばから小江戸名所めぐりバスで「博物館」下車
- 同「川越駅」東口 7 番のりば、「本川越駅」5 番のりばから東武バス「川越運動公園／埼玉医大／上尾駅西口」行きで「市役所前」下車徒歩 5 分
- 同「川越駅」東口 1・2・4・5・6 番のりば、「本川越駅」5 番のりばから東武バス「蔵のまち」経由で「札の辻」下車徒歩 8 分

川越市立美術館

〒350-0053 埼玉県川越市郭町 2-30-1
tel.049-228-8080　fax.049-228-7870